

# とっまび

2022/ 5

No.98

発行／最上ふれあい学園

編集／最上ふれあい学園広報委員会

〒999-6105 山形県最上郡最上町大字富沢4467

TEL 0233-45-2236 ・ FAX 0233-45-2011

HPアドレス：<http://www.vega.ne.jp/~mogamifg/>

Eメールアドレス：mogamifg@vega.ne.jp



P 2 新年度のご挨拶      P 3 観桜会・桜とフォト

P 4～5 新課長から一言／各棟の活動紹介

P 6 避難訓練／園周辺の美化活動

／新職員紹介／編集後記



利用者さんの権利と安全の保障、  
そして支援技術の向上を目指して

～関係法令の順守と  
福祉サービスの確実な対応～

はじめに

コロナ禍での3回目の春を迎える  
こととなりました。

日頃より、最上ふれあい学園の事  
業運営に、利用者さん、ご家族をは  
じめ、地域の皆様、関係機関の方々  
の温かいご支援とご協力を賜り心よ  
り感謝申し上げます。

学園では、昨年2回、今年に入り  
1回の新型コロナウイルス接種を、  
町立最上病院のご協力を頂きスムー  
ズに接種を終了いたしました。そし  
て現在まで利用者さんや職員への感  
染もなく経過しております。コロナ  
禍も長期化しておりますが感染に対  
する緊張感は持続しており、感染防  
止対策の徹底を図ることによって、  
利用者さんやご家族の皆様にも、大変  
ご不便をおかけしていることをお詫  
び申し上げます。

学園では、昨年度も新型コロナウ  
イルス感染症の流行状況を踏まえた  
対応と体制を維持しながら、日常生  
活維持の他に、支援施設としての、

作業活動、行事、地域交流、社会参  
加などの両立にも全力を尽して参り  
ました。

当施設の理念である「和顔愛語」の  
姿勢を全職員で確認し、令和4年度  
のスローガンにしっかりとつなげて  
いきたいと考えております。

6つの重点推進事項

今年度、以下の重点目標を掲げ取  
り組んでまいります。

1 権利擁護への取り組み

虐待防止の更なる推進と、身体拘  
束適正化の為の具体的な対策を整  
備し、人権擁護に対する認識を新  
たにするとともに、施設の責務と  
して万全な対策を整備します。

2 差別解消法・合理的配慮・意思決  
定支援への取り組み

日頃から障害に関する理解や障害  
者の人権や権利擁護に関する認識  
を深めるとともに、配慮義務を徹  
底します。

3 働きやすい、働き甲斐ある職場づ  
くり

魅力的な職場づくりを目指し、職  
種を問わず全職員が充実感をもつ  
て働くことが出来るよう、就業規  
則の遵守をはじめ、ハラスメント

対策の周知等、適切な職場環境維  
持を図ります。

4 支援技術の向上と質の高いサービ  
スの提供

知識や技術の未熟さによる事故、  
虐待・拘束等の事例報告も多いこ  
とから、今後も様々な観点から支  
援技術を研鑽し、多様化する福祉  
ニーズの対応を図ります。

5 地域交流と情報発信の強化

コロナ禍に左右されない新たな交  
流事業を検討し、コロナ禍による  
事業の停滞防止に努めます。また  
積極的な情報発信に努め施設が閉  
鎖的にならないよう留意します。

6 危機対策の強化

高齢化に伴う事故や怪我の発生リ  
スクが高まっている。要因に留意し、  
きめ細かなリスク管理を徹底します。  
感染症や自然災害については有事  
の備えとして研修や訓練の実施に  
より危機意識の維持に努めます。  
防犯対策については、自衛措置と  
して防犯機器の整備や防犯対策マ  
ニュアルなどの体制整備を図ります。

最後に

新年度を迎えるにあたり、コロナ

禍で2年間に経験してきたことや、種々  
の課題に向き合ってきた取り組みを、  
これまで以上に広い視野をもちなが  
ら今後の事業推進に活かしていかな  
ければならないと強く感じております。  
先行きが見えないコロナ感染症、突  
然起こったロシアのウクライナ侵攻  
福島沖の大地震など、今年も、年度  
初めから、大変な幕開けですが、明  
るい希望と夢を持って歩みを進めて  
まいりましょう。

一日も早く、諸行事が再開できる  
ようになり、皆様とお目に掛かれる  
ことを切望しています。



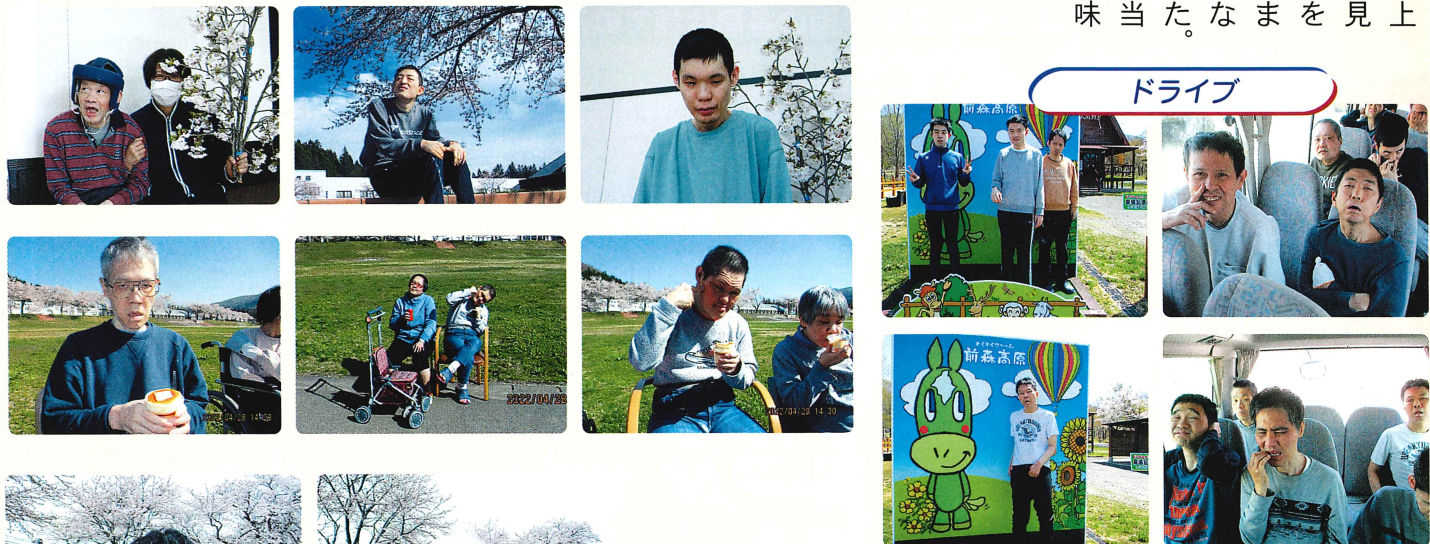
【観桜会】

今年も桜の季節になり、最上  
町ふれあいの里は満開の桜が見  
頃を迎えました。各棟から外を  
眺めると桜を見ることが出来ま  
す。利用者の皆さんで桜を見な  
がら、春を感じたところでした。  
今年も、厨房手作りのお弁当  
を食べました。みんな笑顔で味  
わって食べておりました。

今日は厨房の手作りお弁当



ドライブ



新課長より一言



支援課長 阿相 喜悦  
今年度より支援課

長の職に就かせていただき、ありがとうございます。どうぞ宜しくお願いいたします。

平成2年の開所よりお世話になり、早33年、学園はもとより利用者さんや保護者の皆様より支えていただきながら、努めてきたように思います。そのご恩を返せる良い機会ととらえ、努力させて頂ければ幸いです。

今年度の支援サービス計画書のテーマに「利用者さんの権利と安全の保障、そして支援技術の向上を目指して」サブテーマとして「関係法令の順守と福祉サービスへの確実な対応」この1年はこのテーマをクリアするため、微力ながら取り組んでいく所存であります。また、この最上の自然豊かな環境のもと、生きがいを持ち、生活していただけるよう、「和顔愛語」の精神を継承し、幸福実現のため最善を尽くせるよう努力いたしますので、ご協力宜しくお願いいたします。

本館 東棟

東棟は男子25名、女子14名、元気いっぱい、の利用者様が生活しています。

日中の活動としては、天気が良い日には、陽光をたっぷり浴びながら、外歩行を行っており、荒天時や冬場などは、広い体育室で軽運動を行い、体力増進に努めています。

また棟内では、音楽や映画鑑賞、本読みや絵描きなど、利用者様の個性に合わせての活動に取り組みしております。学園で一番明るく賑やかな棟です。

支援係長 菅原 笑子

最上ふれあい学園の各居住棟での活動のご紹介



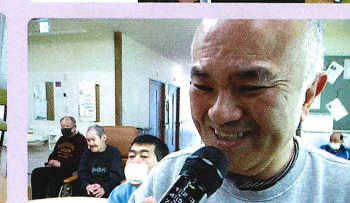
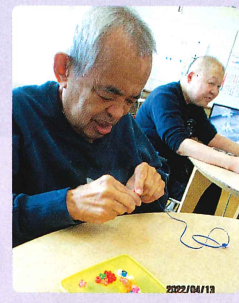
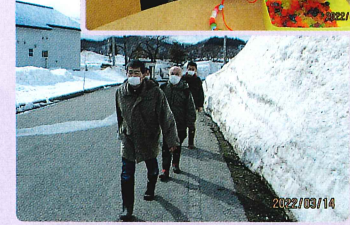
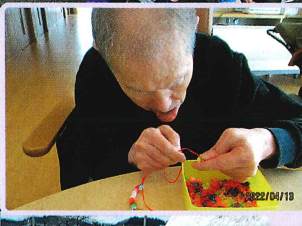
朝陽の家

朝陽の家の東棟と西棟で23名の利用者様が生活しています。西棟の方は作業活動を中心に、農耕班・菓子班・リサイクル班に分かれ、協力し合いながら作業を行っています。

東棟の方は車椅子を利用される方が多く、日頃から安全面に気を配りながら、なるべく穏やかに過ごして頂けるよう支援しております。

東棟と西棟でカラーが違う印象が良く、助け合いながら生活しています。

支援係長 東海林 篤

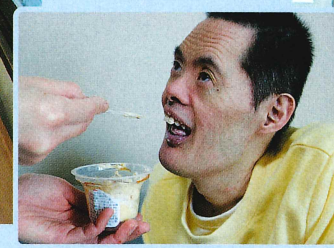
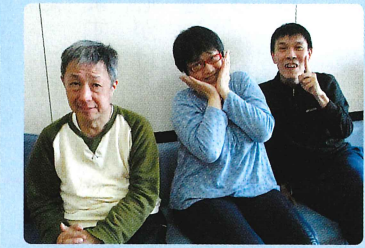
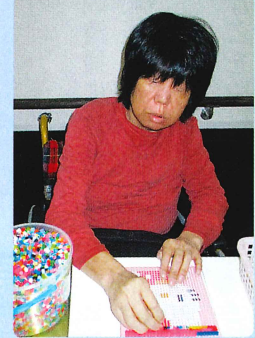


本館 西棟

西棟は、男子10名・女子10名の計20名で生活しています。車椅子利用者の方も多く、静養や常に体調観察が必要な方もいるため、静かな居住棟になっています。

日中活動では、アイロンビーズや塗り絵など、居室内でも行える余暇時間にも活用できる内容を準備しています。晴れた日には園外の散策を行ったり、日々の生活をゆったりと楽しんで過ごしていると思います。

支援係長 大場 千恵



3月30日に定例の避難訓練を行いました。最近また地震が活発になっている事から、地震を想定した訓練を行いました。

防災頭巾を各居室に配備し利用者さんは全員防災頭巾を被り、職員の誘導のもとスムーズに避難を行いました。利用者さんは皆、地震の怖さを知っているので真剣に行っている様子が伺えました。

ふれあい学園では月に一回の避難訓練を行っており、繰り返し行う事で「万が一の時もスムーズに避難できるんだ」と考える今日この頃です。



朝陽の家の棟活動として、有志が園周辺の美化運動を行いました。有志の皆さんのご協力により、今春も爽やかな春が迎えられそうです。

今冬の除雪作業により、排雪に混じって小石やゴミなどが散乱しているのを見た、あ利用者が「清掃をしよう」と自発的に取り組んだのをきっかけに、その輪がどんどん広がり、



新職員の紹介

かん ますみ  
支援員 菅 真澄



●担当：本館東棟若葉寮

●趣味：映画鑑賞  
グルメ巡り

●自己PR：  
久しぶりのふれあいですが、少しでも早くなじめるよう頑張りたいと思います。

こばやし いくみ  
支援員 小林 育実



●担当：本館東棟若草寮

●趣味：アニメ鑑賞

●自己PR：  
紅梅荘から異動してきました。元気いっぱい頑張ります。

皆様からのたくさんのご厚意、

【寄 贈】 いつもありがとうございます！

- 令和3年度保護者会様 【50万円】
- 4月16日/万騎の原 大場幸一様 【雪うり5kg】

今回の清掃に至り、コロナ禍の長い期間において、生活の中で様々な我慢などを強いられる場面が多かったように感じます。その中でも少しでも季節を感じてもらい、癒し・憩いの場を提供できないかという思いから地域貢献の一環として「ふれあいの里」の清掃活動を行いました。コロナ禍ではありますが、感染症対策を心がけた上で、皆さまに憩い・癒しを感じながら、ふれあって頂けたら嬉しく思います。



昨年は全国的に雪が少なく、ふれあいの里でも早々と春めいておりましたが、今年は遠い山々ではまだ深く残雪を蓄えており、涼やかな春風を運んできます。新年度がいよいよ始まり、学園でも利用者様の居室移動を行い、新しく2名の職員を迎え、新体制がスタートとなりました。山形県内でも続々クラスター発生の知らせがあり、ご家族様にはご心配をおかけしておりますが、学園では万全の予防策をとることで、4月現在、施設内の感染者は未だに出ておりません。ご家族様には面会自粛協力など、ご不便をおかけしておりますが、この我慢の先にある「いつもと変わらない日常」を我々学園職員一同、利用者様とともに待っておりますので、引き続きご家族様のご理解とご協力をお願いいたします。

広報委員会 佐藤 義浩